



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月13日

東

上場会社名 エスフーズ株式会社

上場取引所

コード番号 2292

URL <http://www.sfoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 真之助

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 安岡 信幸

(TEL) 0798(43)1065

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日

配当支払開始予定日

平成27年10月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績 (平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	120,175	17.3	3,959	△4.1	4,219	△2.6	2,211	△13.2
27年2月期第2四半期	102,452	25.8	4,127	64.1	4,333	56.1	2,546	73.7

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 3,602百万円(△3.7%) 27年2月期第2四半期 3,740百万円(139.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	78.98	72.99
27年2月期第2四半期	90.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	113,453	52,859	42.6
27年2月期	98,755	49,768	46.0

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 48,310百万円 27年2月期 45,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	14.00	—	14.00	28.00
28年2月期	—	16.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	7.4	8,500	3.3	8,800	2.3	5,000	15.1	178.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期2Q	32,267,721株	27年2月期	32,267,721株
28年2月期2Q	4,265,690株	27年2月期	4,265,521株
28年2月期2Q	28,002,157株	27年2月期2Q	28,002,417株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、当初は堅調に推移しておりましたが、欧州の信用不安問題に加え中国経済の失速懸念により、好調を続けてきた株価が下げ基調に転じ、先行きに不安感が増しております。当食肉業界におきましても、国際的な農産物の逼迫と価格高騰の影響を受け、引き続き厳しい経営環境にさらされました。

このような経営環境のもと、当社グループは、食肉の生産から小売・外食までの食肉事業を一貫してグループで行う垂直統合を更に推し進めていくことにより、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、本年5月に北海道において、豚のと畜と加工を行う日高食肉センターが稼動を始めました。豚の飼育を行う千歳の新農場もまもなく完成することから、豚肉事業の一貫経営体制が整います。今後も高品位の豚肉を全国的に展開してまいります。また、「こてっちゃん」の復活に向けた消費者キャンペーン、グループ各社間相互の得意先や販売製品の営業、開拓を行うことにより、グループ全体での製品販売の相乗効果を図りました。海外では、米国子会社FREMONT BEEF COMPANYの拡張工事を行うなど、今後の取扱量拡大に向けた施策を積極的に行いました。

食肉等の小売事業においては、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。食肉等の外食事業では、ステーキレストランチェーン事業の競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,201億7千5百万円（前年同四半期比17.3%増）、営業利益39億5千9百万円（前年同四半期比4.1%減）、経常利益42億1千9百万円（前年同四半期比2.6%減）、四半期純利益22億1千1百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,042億1千4百万円（前年同四半期比19.0%増）、セグメント利益は35億1千4百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

#### ②食肉等の小売事業

売上高は109億5千4百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は6億3千7百万円（前年同四半期比13.3%増）となりました。

#### ③食肉等の外食事業

売上高は41億3千2百万円（前年同四半期比6.6%増）、セグメント利益は2億7千8百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

#### ④その他

売上高は8億7千4百万円（前年同四半期比7.0%増）、セグメント利益は8千万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて146億9千8百万円増加し、1,134億5千3百万円となりました。これは主に、新株予約権付社債の発行による現金及び預金の増加及び売上高増加に伴う売上債権の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて116億7百万円増加し、605億9千4百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び新株予約権付社債の発行によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて30億9千1百万円増加し、528億5千9百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて80億1千9百万円増加し、261億3千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、14億5百万円の収入（前年同四半期は29億7百万円の収入）で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益41億3千1百万円、減価償却費13億4千4百万円及び仕入債務の増加10億2千4百万円であります。一方、主な減少要因は売上債権の増加19億5千1百万円及び法人税等の支払額19億5千9百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、38億6千6百万円の支出（前年同四半期は6億6千2百万円の支出）で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出36億8千4百万円及び投資有価証券の取得による支出14億5千万円であります。一方、収入の主なものは投資有価証券の売却による収入14億4千1百万円及び貸付金の回収による収入2億8千5百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、105億1千9百万円の収入（前年同四半期は3億7千3百万円の収入）で、収入の主なものは社債の発行による収入90億6百万円及び長期借入による収入23億3千5百万円であります。一方、支出の主なものは長期借入金の返済による支出10億1千8百万円及び配当金の支払額3億9千1百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期の業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が225百万円、退職給付に係る負債が209百万円増加し、利益剰余金が41百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、株式会社フードリエ及びその子会社は、12月31日に実施した仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、同社が決算日を2月末日に変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年8月31日までの8か月間を連結しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,120	27,129
受取手形及び売掛金	24,355	26,319
商品及び製品	9,772	10,019
仕掛品	452	537
原材料及び貯蔵品	3,157	2,808
その他	1,898	2,425
貸倒引当金	△256	△277
流動資産合計	58,501	68,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,807	30,889
減価償却累計額	△18,931	△19,231
建物及び構築物（純額）	8,875	11,658
土地	10,694	10,895
その他	24,823	24,701
減価償却累計額	△15,970	△16,238
その他（純額）	8,852	8,462
減損損失累計額	△1,276	△1,277
有形固定資産合計	27,145	29,738
無形固定資産		
のれん	20	14
その他	307	342
無形固定資産合計	327	356
投資その他の資産		
投資有価証券	10,012	11,363
退職給付に係る資産	—	316
その他	3,034	2,951
貸倒引当金	△267	△235
投資その他の資産合計	12,780	14,396
固定資産合計	40,253	44,491
資産合計	98,755	113,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,893	18,920
短期借入金	3,790	4,555
未払法人税等	1,851	1,373
賞与引当金	678	775
その他	7,597	7,143
流動負債合計	31,810	32,768
固定負債		
社債	40	9,041
長期借入金	11,766	12,928
役員退職慰労引当金	178	196
退職給付に係る負債	1,917	2,083
その他	3,273	3,576
固定負債合計	17,175	27,825
負債合計	48,986	60,594
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	28,155	29,933
自己株式	△2,991	△2,991
株主資本合計	41,414	43,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,276	4,372
繰延ヘッジ損益	32	△11
為替換算調整勘定	712	773
退職給付に係る調整累計額	△43	△15
その他の包括利益累計額合計	3,978	5,118
少数株主持分	4,374	4,548
純資産合計	49,768	52,859
負債純資産合計	98,755	113,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	102,452	120,175
売上原価	84,827	100,943
売上総利益	17,625	19,232
販売費及び一般管理費	13,497	15,272
営業利益	4,127	3,959
営業外収益		
受取利息	17	18
受取家賃	44	64
受取配当金	101	118
その他	265	226
営業外収益合計	428	428
営業外費用		
支払利息	88	93
賃貸原価	6	19
その他	127	55
営業外費用合計	223	168
経常利益	4,333	4,219
特別利益		
固定資産売却益	13	10
投資有価証券売却益	51	2
その他	4	2
特別利益合計	69	14
特別損失		
固定資産処分損	27	27
減損損失	6	38
店舗閉鎖損失	9	36
その他	10	0
特別損失合計	54	103
税金等調整前四半期純利益	4,349	4,131
法人税等	1,686	1,678
少数株主損益調整前四半期純利益	2,662	2,453
少数株主利益	116	241
四半期純利益	2,546	2,211

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,662	2,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,207	1,102
繰延ヘッジ損益	△34	△44
為替換算調整勘定	△95	61
退職給付に係る調整額	—	29
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,077	1,149
四半期包括利益	3,740	3,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,616	3,351
少数株主に係る四半期包括利益	124	251

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,349	4,131
減価償却費	1,046	1,344
減損損失	6	38
のれん償却額	5	5
負ののれん償却額	△4	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	322	97
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△101	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△44
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△89
受取利息及び受取配当金	△118	△137
売上債権の増減額(△は増加)	△6,528	△1,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,651	22
仕入債務の増減額(△は減少)	6,170	1,024
未払消費税等の増減額(△は減少)	331	△440
その他	372	△675
小計	4,198	3,325
利息及び配当金の受取額	115	132
利息の支払額	△88	△94
法人税等の支払額	△1,318	△1,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,907	1,405
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	10	10
有形固定資産の取得による支出	△1,381	△3,684
貸付金の回収による収入	1,594	285
無形固定資産の取得による支出	△29	△70
投資有価証券の取得による支出	△1,432	△1,450
投資有価証券の売却による収入	1,720	1,441
貸付けによる支出	△1,042	△350
その他	△101	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△662	△3,866
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△310	765
長期借入れによる収入	2,499	2,335
長期借入金の返済による支出	△1,149	△1,018
社債の発行による収入	—	9,006
配当金の支払額	△363	△391
少数株主への配当金の支払額	△64	△77
その他	△238	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	373	10,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,597	8,019
現金及び現金同等物の期首残高	14,449	18,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,047	26,134

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	87,546	10,213	3,875	101,635	817	102,452	—	102,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,668	41	103	3,813	77	3,890	△3,890	—
計	91,215	10,254	3,978	105,448	894	106,343	△3,890	102,452
セグメント利益	3,776	562	248	4,588	68	4,657	△529	4,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△529百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△492百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	104,214	10,954	4,132	119,301	874	120,175	—	120,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,897	37	145	4,079	60	4,140	△4,140	—
計	108,111	10,991	4,277	123,380	934	124,315	△4,140	120,175
セグメント利益	3,514	637	278	4,430	80	4,510	△551	3,959

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△551百万円には、セグメント間取引消去△26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△524百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。